



## 市民活動あれこれ情報交換会 ～ちょっと教えて！活動資金の集め方～



12月17日(木)に、『市民活動あれこれ情報交換会～ちょっと教えて！活動資金の集め方～』を開催しました。活動をしていく上での資金集めは無視できない課題であり、どの団体も抱えている問題です。当日は、コーディネーターに(認定)NPO法人杜の伝言板ゆるる代表理事の大久保朝江さんを迎え、10団体から12名の参加があり、活発な団体交流の場となりました。



### ◆ 会員を増やす＝活動を理解してもらう

当日参加された団体の多くは、活動資金を会費から捻出しており、自然と会員の集め方について話が進みました。「市民活動は強制的に参加させられるものじゃないから気楽にできる。そういう取り組みやすさをアピールしてみるのもいいと思う」というものから、「集会所のような、小さなコミュニティでのイベントの開催をきっかけに、みんなに活動を知ってもらおう」というものまで、さまざまな工夫があがりました。

「会員を増やすということは、その団体の活動に理解を得るということ。そのためにはまず、どのよ

うなことをやってきたかという実績が重要」と大久保さん。一口に「会員を増やす」と言ってもそのやり方はさまざまですが、今回の情報交換会では、その基礎となるものを見直す助言となりました。

### ◆ 活動を言葉で表す大切さ

また、話題は助成金についての話となりました。大久保さんは、「団体が期待する資金として、民間の出す助成金や、自治体が出す補助金などがある。ただ、補助金はだんだん減少傾向にあり、今からなら助成金を使うことをお勧めする」と語ります。特に、助成金の申請については、「助成金の申請用紙を見た人が、活動内容やその想いを十分理解できるように書かないと伝わらない。できれば活動をよく知らない人に申請書を見てもらい、どこが分かりにくかったかを教えてもらうようにすればいい」というアドバイスがありました。また、「助成金を申請して通らなかった時の申請用紙を見返すのも効果的。時間が経ってからもう一度見ることで、冷静な目で見ることができる」とも語ります。



情報交換会の終了後には、他団体同士で今後の活動の進展について話し合われる姿が見られ、実りある情報交換会となりました。



## なとセン市民活動講座 「意見をまとめる会話術」

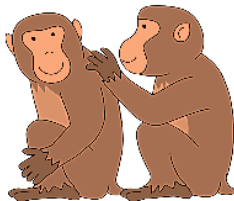
### 小さなポイントを押さえることで、意見はまとまる！

仲間の想いは同じはずなのに、ぶつかってしまう。本音をぶつけるほど気持ちが離れていく。そんな心のぶつかり合いが、市民活動の妨げになることがあります。なとセンでは、このような問題を解決するために、11月21日（土）、市民活動講座「意見をまとめる会話術」を開催しました。



NPOの理解者でもある中小企業診断士の波多野卓司さんを講師に招き、「団体内の意見をまとめる方法」について、これまでの経験談を交え、楽しくわかりやすく、話をしていただきました。当日は、26名の参加があり、終始にぎやかで、あっという間の2時間30分となりました。

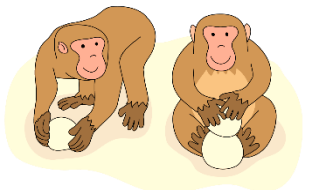
#### 認めることで、心を開く



市民活動団体にとって、様々なアイデアや意見を出しあうことは、よりよい活動にしていくために、必要不可欠なものといえます。しかし、相反する意見が出た場合、それぞれの意見を尊重し、合意を図っていくことは容易ではありません。

波多野さんは、「カリスマ的リーダーがいる組織よりも、声掛けをまめにするリーダーがいる組織のほうが、意見のまとまりを生む」と、話します。さらに、声掛けにより、良い関係性ができ、人の気持ちも

まとまりやすくなります。「ひさしぶりだね」「髪形変わったね」「元気だった？」など、日ごろ使っている、なにげない言葉でいいのです。



また、有効な会話方法として、「訊く（問いかける）⇒聴く（よくきき理解しようとする）⇒認知する（相手を受け入れ認める）」を勧めます。意見を伝えた時に、否定ばかりされると、人は自信を失い、活動に対する意欲さえも、なくなってしまうことがあります。

しかし、「ここどうしたらいいと思う？」「あなたの意見はこうなんですね」「いつも団体のことを考えてくれていますね」など、自分の存在を受け入れられていると感じる会話は、人を安心させ心に居場所を作ります。ここに、波多野さんが考える、「認知（受け入れ認める）」があります。人は、自分を理解してくれる人（団体）、自分を認め受け入れてくれる人（団体）に、ついていきたいと考え、心を開くといいます。

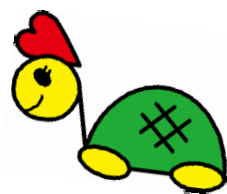
講座終了後、参加者から、「とても楽しくあっという間だった」「これからのボランティア活動に活かしたい」「聴くことの重要性を改めて考えました」などの声が聞こえてきました。





# エヌポと学ぼう 市民活動のこと

12月の寄付月間  
のお話です。



エヌポ！12月になとセンに行ったとき、「寄付月間」というポスターを見たんだけど、寄付月間ってどういうことなのかな？

「寄付月間」とは、NPO法人や企業、学校などで作る推進委員会が、寄付の大切さを考えようとしているキャンペーンのことなんです。多くの人が寄付に関心をもち、想いを込めて寄付をしよう。寄付を受け取った人は、寄付をした人に感謝し、きちんと活動の内容を報告しようというものです。

なるほどね。私は、市民活動を始めたばかりだからその寄付について教えてくれるかい。

はい。NPO法人や市民活動団体などは会費や寄付、補助金、助成金、事業収入などが活動資金になるんですが、中でも寄付は、団体の活動を応援してくれる人たちが、見返りを期待しないでお金やものを提供してくれることなんです。そして市民活動にとっての寄付は、資金を得るということだけではなく、地域の問題に取り組む活動を理解し、応援してくれる人が増えるという大きな意味をもっているんです。

寄付がかい？

例えば、おじさんの活動は、もっとたくさんの人を巻き込んで、社会を変えていきたいんですよ。

そうだよ。みんなのためになる活動をしていきたいと思っているんだけど、活動を進めていくうちに、やっぱりお金がかかるんだよ。

そうですね。だから一人でも多くの人に活動を理解してもらったり、参加してもらったりしながら、応援したいという想いを込めて寄付してくれたら、活動も続いていきますよね。

そうか、だから市民活動にとっての寄付は大切なことなんだ！

寄付する側にとっても、自分のお金が地域を支える活動に使われていると実感することが大切なんです。

よくわかったよ。ところで、具体的に寄付を集めるにはどうしたらいいかな？

まずは自分たちの活動を見てもらったり、聞いてもらったりして、知ってもらうことです。それから、チラシや情報誌などを使って寄付を募っていることをお知らせして支援をお願いします。

今どきのインターネットを使った情報発信ってのもよさそうだな。

そうですね。それに寄付を何に、どう使うのかをきちんと伝えることも大切です。

たしかに、寄付する立場になったら、何をやっているかわからない、お金を何に使おうとしているのかがはっきりしない団体には寄付しようとは思わないからな。

そして、実際に寄付をどのように使ったのか、どう役立ったのかをお知らせすることも重要です。寄付した人は、そのお金がどのように役立ったかを知ると、活動を信頼してくれるようになります。そうすれば続けて寄付してくれるかもしれませんよね。

なるほどね。そうやって続けて寄付してくれたら活動しやすくなるよな。

まずは「信頼される市民活動団体になること」これが重要ですね。





# なとセン infomation

開催間近  
参加者募集中

## なとセン市民活動講座 「日々の会計のための初級講座」

### ■開催日 1月23日(土)

団体にとって、正しい会計処理と報告は、信頼と賛同を得るために欠かせません。

この講座では、活動をするなかで日常的に発生する、帳簿のつけ方、現金や通帳の保管方法、請求書や領収書の整理や取り扱い方など、会計の基本をわかりやすく学びます。

●日 時 13:30~15:00

●講 師 小野 恵子 さん

(認定) 特定非営利活動法人杜の伝言板ゆるる

会計サポーター

●会 場 名取市市民活動支援センター

●参加費 無料

●定 員 20名(先着順/要予約)

●対 象 市民活動団体やボランティア団体の会計担当者



相談  
受付

### ■2月19日(金)「教えて!市民活動なんでも相談会」

時 間 ①13:30~14:30 ②14:45~15:45 ③16:00~17:00

NPOや市民活動に関する悩み、知りたいこと、気軽にご相談ください。

お問い合わせは、名取市市民活動支援センター(☎022-382-0829)まで

参加者  
募集

NPO 法人仙台傾聴の会  
オレンジカフェ

## なとセン登録団体からの お知らせ

復興支援プロジェクト STEP  
閉上思いで返却会

開催  
告知

●傾聴ボランティアと一緒に、お茶を飲みながらゆっくりおしゃべりしませんか。性別・年齢関係なくどなたでも参加自由な茶話会です。お待ちしております。

●日 時 1月22日(金)・2月26日(金)  
10:00~11:30

●会 場 名取市市民活動支援センター

●参加費 無料

●問合せ先 NPO 法人仙台傾聴の会  
森山 ☎090-6253-5640

●震災被害のあった閉上地区すべての側溝内探索で見つかりましたお写真、表札、ご位牌、玩具、郵便物、名前入りの「思い出」の品々、約3,100点を展示・ご返却いたします。

●日 時 1月23日(土)・1月24日(日)  
2月27日(土)・2月28日(日)  
10:00~21:00(～土曜 16:30)

●会 場 名取市市民活動支援センター

●問合せ先 復興支援プロジェクト STEP  
郷右近 ☎090-8619-4660

※「なとセンだより」では、登録団体の会員募集やイベント開催の掲載をいたします。

詳細は、名取市市民活動支援センタースタッフまでお問い合わせください。

発行日:平成28年1月15日

発行:名取市市民活動支援センター

発行部数:1,000部

編集:特定非営利活動法人パートナーシップなとり

問合せ先:〒981-1232 宮城県名取市大手町5丁目6-1

TEL:022-382-0829 FAX:022-382-0841

E-mail:npo@natori-npocenter.or.jp

HP:http://www.natori-npocenter.or.jp

Blog:http://blog.canpan.info/natori

